

国民体育大会大阪府代表選手の選考規定

* 国民体育大会（令和4年・5年）⇒国民スポーツ大会（令和6年以後）

（目的）

この規定は大阪体操協会における国民体育大会に参加する大阪府代表選手の選考等に関し必要な事項を定めるものとする。

【体操競技】

少年男女

1. 大阪府民スポーツ大会 兼 国民体育大会体操競技予選会の成績をもとに国民体育大会大阪府候補選手※を選出する。

※候補選手について

- ①. 体操天皇杯全日本個人総合選手権またはNHK杯体操に出場した者
- ②. 推薦書の提出があり、大阪体操協会が認めた者
- ③. ①②を除いた国民体育大会予選会の個人総合成績 上位8名

ア：近畿ブロック大会に出場する選手（5名）

国民体育大会予選会の①個人総合上位5名および②推薦書の提出があり、理事会において推薦が認められた選手から理事会において決定する。

イ：本国体に出場する選手（5名）※

- ①国民体育大会予選会の個人総合上位3名を正選手とする。
- ②残りの2名は、①の3名を除いた個人総合上位5名の選手と上記[ア：推薦が認められた選手]を〔国民体育大会大阪府候補選手〕とし、後日最終選考会をおこない、理事会において決定する。

※最終選考会の詳細については候補選手・所属にお知らせします。

また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や社会情勢等により最終選考会が中止となった場合は、ア：近畿ブロック大会に出場する選手5名を本国体の正選手とします。

※最終選考会を実施する前に理事会で推薦者。

※審判員は大阪体操協会審判委員会より決定する。

成年男女

国体成年の部の代表選手は、前年度と前々年度に実施の大阪体操協会指定の選考対象競技会の成績を考慮し、選考委員会において検討し、理事会で決定する。

〔成年男女の選考対象競技会の例〕

全国高校総体、全日本インカレ、国民体育大会、全日本体操選手権大会、NHK杯、東西インカレ

【トランポリン】

成年/少年共通男女

1. 国民体育大会近畿ブロック大会大阪府代表選考会を開催し、男女各優勝者を代表選手とする。男女各2位の選手を予備登録選手として選考する。

【新体操女子】

国民体育大会 大阪新体操選抜選手は第1次選考会・第2次選考会・第3次選考会を経て選出される。(開催される前年度に選抜選手の選考会を行う。但し社会情勢により変更される場合もある)

1. 第1次選考会

※選出方法について

高校1・2年生

大阪高校選手権大会 兼 全国・近畿大会予選会 個人総合成績15位までの者と
大阪新体操選手権大会 個人競技10位までの者が第1次選抜候補選手として選出。

中学2・3年生

近畿ジュニア選手権大会 個人競技出場者と大阪新体操選手権大会 個人総合成績
10位までの者が第1次候補選手として選出。

対象選手の所属長へ説明会

第一次候補選手に認定証贈呈 承諾の可否の確認。

2. 第2次選考会

※選出方法について

○第1次候補選手として承諾した者が選考会に参加

○団体に必要となる交換・関係・リスクの選考項目を行い、総合成績上位10～13名ほどを
第2次候補選手として選出。

* 審判員は大阪体操協会審判委員会より決定する。

3. 第3次選考会最終候補選手を選出。

※選出方法について

○最終選考会を実施する前に理事会で推薦者の確認。

○第2次選考会で選出された者が選考会に参加

○演技に必要となる身体難度の選考項目を行い、総合成績をつける。

* 審判員は大阪体操協会審判委員会より決定する。

○本国体正選手5名と予備登録2名の選出を各選考会の成績を参考に大阪体操協会理事会で
決定する。

(団体演技)選考された選手の多い高校の演技を基本とする。

(監督) 団体演技に採用された監督。

(コーチ) 監督以外の学校で選出された選手の監督もしくはコーチの中から監督と理事にて
決定。

この規程は、2022年4月1日 制定・施行